

平成18年11月10日

各位

会社名 株式会社 Z O A
代表者 代表取締役社長 長嶋 豊
(コード番号 3375 JASDAQ)
問合せ先 取締役管理部長 伊井 一史
電話番号 (055) 922-1975

平成19年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ

平成18年5月16日付の決算発表時に公表した平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の通期の業績予想を、下記の通り修正いたします。

記

1. 平成19年3月期の業績予想の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	17,100	592	340
今回修正予想(B)	14,862	334	165
増減額(B-A)	△2,238	△258	△175
増減率(%)	△13.1	△43.6	△51.5
前期(平成18年3月期)実績	16,734	576	320

2. 修正理由

(1) 当期におきまして、去る10月26日に電子情報技術産業協会(JEITA)より発表された2006年度上期のパソコン出荷台数は、前期比4%減と半期ベースでは7期ぶりの前年割れ、出荷額も価格競争の影響で前年比6%減の実績となりました。これはコンシューマ市場での消費・支出が分散したことにより市場全体が落ち込んだことに加え、今年はじめには2006年の後半に発売が予定されていたマイクロソフトのパソコン用基本ソフト(OS)「ウィンドウズ・ビスタ」の発売が来年1月に延期されたことによる買い控え現象が当初の予想以上に大きく影響していると思われます。話題性のある新機能を搭載した商品に恵まれなかったこともあり、買い控えに対する防止が図れなかったこと、及び継続的な販売単価下落による売上高の減少なども影響しました。パソコン本体の販売の低迷と同様に、消費の分散傾向と「ウィンドウズ・ビスタ」の発売延期は周辺機器やDOS/Vパーツ類、ソフトウェア類の買い替え・買い増し需要にも予想以上に影響し、当社の今期業績に大きく影響を及ぼす結果となりました。

ただし、来年1月には、「ウィンドウズ・ビスタ」の発売が予定されており、買い替え・買い増し需要が喚起されるものと予想しております。当社は、独自のサービス&サポートや専門店ならではの品揃えを武器に、このビジネスチャンスをしっかり捉えることで、当下期の業績向上に努めてまいります。

- (2) 新規出店のために出店地の検討・物件の模索を行いましたが、当社の条件に適合した物件の契約に目処が立っておりません。このため、当下期での新規出店による売上を計画通りに計上することが困難となりました。引き続き、新規出店に関しましては、検討を進めてまいります。
- (3) この6月より今年度初頭に自社開発した経費管理システムを活用し、人件費をはじめとする諸経費を見直し、利益重視の方向性をより強めておりますが、商品の管理体制を強化し、約17,000千円の評価損をこの中間期に引当てております。これらは、期初には予定していなかった費用であり、利益減額の要因となっております。

以上の結果、当期売上高は前回予想に対して2,238百万円減の14,862百万円となる見込みであります。また経常利益は、売上高減少の影響により前回予想に対して258百万円減の334百万円、当期純利益は、経常利益の減少及び特別損失の計上により175百万円減の165百万円の見込みであります。

なお、1株当たりの配当金は、当初の発表通り5,000円を維持する予定としております。

(業績予想に関する留意事項)

上記の業績に関する予想数値は、当社が現時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は今後の様々な要因により当該予想と異なる場合があります。

以上